

溝上 慎一の教育論(動画チャンネル) Number6(忙しい中でも多くの仕事をする学者のコツ)

⑨ 石山恒貴先生(法政大学教授)インタビュー
—手帳にタスクを書き出し消していくのが快感!—

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

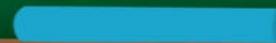
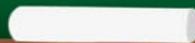
<http://smizok.net/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長(2020-2021年)。京都大学博士(教育学)。

*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画は溝上が個人的に作成・提供するものです





Number17 (新著の紹介)



#1 石山恒貴・伊達洋駆著 (2022年3月)

『越境学習入門ー 組織を強くする「冒険人材」の育て方』



違う船に乗っていた人たちが仲間になって冒険するようになる、そんなイメージで説明される「越境学習」とは！



(ご紹介)



石山恒貴

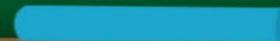
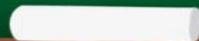
いしやま のぶたか

法政大学 大学院政策創造研究科 教授

一橋大学社会学部卒業、産業能率大学大学院経営情報学研究科修士課程修了、法政大学大学院政策創造研究科博士後期課程修了、博士（政策学）

NEC、GE、米系ライフサイエンス会社を経て現職。
日本労務学会副会長、人材育成学会常任理事ほか。

経営行動科学学会優秀研究賞（JAASアワード）
（2020）、人材育成学会論文賞（2018）



それではご覧ください

研究者としての仕事のコツ1

- ◆ プロジェクトベースになる→自分が価値を発揮できる領域はなにか、それ以外は任せる
 - ✓ ただし、相手にとっても価値になるよう留意
 - ✓ 任せたら、なるべく多く任せ、口はださない
 - ✓ 可能な限り、金銭的なアウトソースも
- ◆ 優先順位を常に重視
 - ✓ 半年単位、月単位、週単位、日単位の優先順位を常に検討し、柔軟に変更
 - ✓ スケジュール、タスクリストはアナログなスケジュール帳で、一目でわかるように

研究者としての仕事のコツ2

◆効率化できそうなデジタルツールは活用

- ✓ Gメール、Facebookグループ、Slack、チャットワーク、メッセージャー、グーグルドライブ、グーグルドキュメント、ドロップボックス、zoom、SPSS、質的ソフト、マイニング
- ✓ 効率化しそうな話は常に収集し、試す

◆ファイリングへのこだわり

- ✓ 研究室の書籍、論文は一定ルールで場所を常に入れ替え
- ✓ PC上のフォルダ設定にもこだわり
- ✓ 作成済みの知的資産データの再活用を常に意識

研究者としての仕事のコツ3

◆燃え尽きないように、上限基準を設定

- ✓ 講演、原稿、委員会など一定期間の上限を超えたら、次の期間まで受諾を先送り
- ✓ 打ち合せ、書類のやりとりなどは、最小限で済むように、最初に配慮を依頼する